

日本独自の技術で開発された普通紙複写機

登録番号	第 00358 号		
登録年月日	2023（令和5）年9月12日	登録区分	第一種（大量生産品等同様のものが複数あるもの）

名 称 (型式等)	キヤノン NP-1100		
所 在 地	東京都大田区 キヤノン株式会社		
所 有 者 (管理者)	キヤノン株式会社		
製 作 者 (社)	キヤノン株式会社		
製 作 年	1970年		
初 出 年	1969年		
選定理由	日本独自の技術によって開発された最初期の普通紙複写機のひとつである。導電性基体、感光層、絶縁層からなる三層構造の感光ドラムで静電潜像を作る新技術は、NP（New Process）方式と呼ばれた。NP方式の感光ドラムは可視光感度と耐久性が高く、光源サイズの縮小とクリーニング・ブレードの導入を可能にした。また、従来のカスケード現像ではなく磁気ブラシ現像も採用した。世界の複写機市場を米国ゼロックス社の技術が席卷していた時代に、日本独自の技術で誕生した新たな普通紙複写機として、歴史的に重要である。		
登録基準	一ーロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）		

公開・非公開	非公開		
--------	-----	--	--

写 真			
その他参考となるべき事項			